

患者向け説明書：日本脳炎ワクチン この説明書は、日本脳炎ワクチン接種を受ける方に必要な情報をまとめたものです。接種前に必ずご確認ください。

日本脳炎とは

- **原因**: 日本脳炎ウイルスによる感染症。蚊(特にコガタアカイエカ)が媒介します。
- **感染経路**: 人から人へは感染せず、ブタなどの動物体内で増えたウイルスを蚊が媒介して人に感染します。
- **症状**: 多くは無症状ですが、発症すると高熱、頭痛、嘔吐、意識障害、けいれんなどの中樞神経症状が出ます。
- **重症化リスク**: 発症者の 20~40%が死亡し、生存者の 45~70%に後遺症(精神障害や運動障害)が残るとされています。

ワクチンの特徴

- **種類**: 乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン(不活化ワクチン)。
- **効果**: 接種により罹患リスクを **75~95%減少** させることができます。
- **使用されている製品**: ジェービックV、エンセバック皮下注用。

接種スケジュール(任意接種)

- **定期接種未接種の場合**, 渡航前に 1~4 週間隔で 2 回接種し、6 か月~1 年後に 3 回目の追加接種を行います。定期接種をしている場合は、50 歳以上で追加接種が必要です。

副反応について

- **よくある副反応**: 注射部位の発赤、腫れ、痛み。
- **全身反応**: 発熱、倦怠感、頭痛。
- **まれな副反応**: 強いアレルギー反応(アナフィラキシー)。

接種が推奨される方

- 定期接種対象年齢の子ども。
- 流行地域へ渡航予定の方。
- 農業従事者など蚊に刺されやすい環境にいる方。

接種前の注意

- 発熱や体調不良がある場合は接種を延期することがあります。
- 過去にワクチンで強い副反応があった場合は必ず医師に伝えてください。
- 妊娠中の方は医師に相談してください。

接種後の注意

- 接種当日は激しい運動や飲酒を控えてください。
- 注射部位の腫れや痛みは数日で改善することが多いです。
- 強い症状が続く場合は速やかに医師へ相談してください。

まとめ

日本脳炎は 重篤な脳炎を引き起こし、死亡や後遺症のリスクが高い感染症です。ワクチン接種により大幅に予防できるため、定期接種の対象年齢で必ず接種することが推奨されています。

この説明書は一般的な情報です。詳細は必ず医師・医療機関にご相談ください。

副反応確認のため、接種後 20 分間体調確認をさせていただきます。

帰宅後、体調の変化などがございましたら下記にお問い合わせ下さい。

秋田赤十字病院 電話 018-829-5000(代表)

平日(8:30-16:30)は予防接種センターでの対応、それ以外の時間帯は救急外来での対応となります。